

補助事業番号 24-11
補助事業名 平成24年度機械類の安全性に関する標準化等調査研究補助事業
補助事業者名 (一社) 日本機械工業連合会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

あらゆる機械に網羅的、横断的に使用できる機械の安全性向上に寄与する国際標準 (ISO,IEC) 及び日本工業標準 (JIS) 原案の審議・作成等の活動を実施し、これにより労働災害の減少に寄与すると同時に、グローバル市場への製品展開も行い、もって機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

①国際規格の審議・開発

ISO/TC199 部会及び IEC/TC44 部会において、次の国際規格の審議・開発を実施した。

●改定案件 (12 件) :

ISO13856-1、-2、-3 (圧力検知保護装置)、ISO14119 (インターロックとガード)、ISO13850.ed2 (非常停止)、ISO14120 (固定式及び可動式ガード)、IEC 60204-1 Ed.6 (機械の電気装置—一般要求事項)、IEC 60204-31Ed.4 (縫製機械、縫製ユニット及び縫製システムの安全性と EMC)、IEC61496 シリーズ (電氣的検知保護装置/3件)、IEC 62061 Ed.2 (機能安全)

●新規作業項目 (7 件) :

ISO/TR18670 (ISO12100 と ISO13849-1 の関係)、ISO13849-1:2006/AMD1 (制御システムの安全関連部—追補)、ISO/IEC17305 (安全制御システム ISO13849 と IEC62061 統合)、IEC/TS60204-34 (機械の電気装置—工作機械)、IEC/TR61496-4-4-3 (映像利用保護装置-ステレオビジョン方式)、IEC62046 (人の存在検知に対する保護装置の適用)、IEC62745 (ケーブルレスコントローラ)

②JIS 原案の作成

平成24年度のJIS原案の作成について、ISO/TC199 部会及び IEC/TC44 部会とも、新規のJIS原案作成はなかったが、JIS B 9700 (設計のための一般原則—リスクアセスメント及びリスク低減)、JIS B 9718 (上肢/下肢の安全距離)、JIS B 9715 (人体部位の接近速度に基づく保護装置の位置決め) の3件について日本工業標準調査会 (JISC) の産業機械技術専門委員会で承認された。



写真 1 国際規格 ISO13856-1
(圧力検知マット) ドラフト

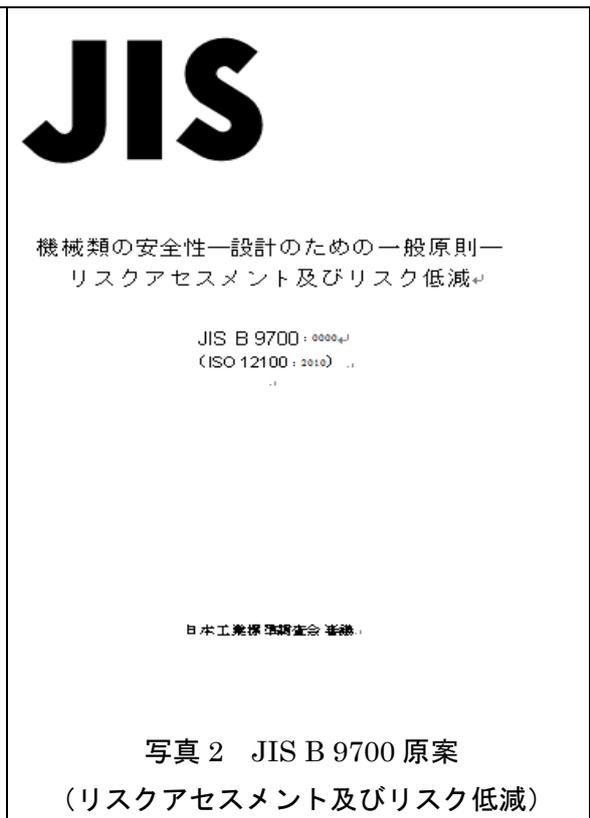


写真 2 JIS B 9700 原案
(リスクアセスメント及びリスク低減)



写真 3 国内会議風景



写真 4 国際会議風景

2 予想される事業実施効果

本事業における成果は、機械類の安全性確保のために、広く横断的に使用可能な内容を含む国際規格と JIS 原案を収めてあり、シュレツダ、回転扉事故など社会問題として取り上げられる事故防止対策に活用されている。また、最近では消費者用製品の安全性規格においても採用されてきていることから、今後、産業機械のみならず、消費者用製品の安全性対策にも利用されることが予想される。

消費者用製品の規格である ISO10377 においても、本事業成果である規格が引用されていることから産業機械分野から消費者用製品分野などに広がりを見せており、徐々に普及していると思われる。

3 本事業により作成した印刷物

平成 24 年度 ISO/TC199 部会成果報告書

(http://www.jmf.or.jp/japanese/houkokusho/kensaku/pdf/2013/24jigyo_04.pdf)

平成 24 年度 IEC/TC44 部会成果報告書

(http://www.jmf.or.jp/japanese/houkokusho/kensaku/pdf/2013/24jigyo_05.pdf)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名：(一社) 日本機械工業連合会 (ニホンキカイコウギョウレンゴウカイ)

住 所：〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8

代表者：会長 岡 村 正

担当部署：標準化推進部 (ヒョウジュンカスイシンブ)

担当者名：宮崎浩一 (ミヤザキヒロカズ)

電話番号：03-3434-9436

FAX：03-3434-6698

E-mail: miyazaki@jmf.or.jp